

日本共産党の御説  
 (昭和二十一年)の御説  
 御説の内容は、社会主義の理想を掲げ、  
 社会の平等と労働者の権利を主張する  
 ことである。その内容は、社会主義の  
 基本原則と、日本共産党の政治綱領を  
 示している。

別記

御説

(原文、依)

松共は不滿意なるを再び改め不自由を以て改められたる  
 まり探りた今回の罷業は殊に申譯ない冷弊である  
 ますが、今社に相変りし松共微力なる運轉子  
 を歴迎致しませしや、その生活にさへ苦しみつ  
 つあるものをもも今然有みるや、又た之を貧乏人  
 は当然生活苦が社会的制裁の如く来るも又  
 である様な無情たる是は固持しませすや下  
 何んとかしや、其反者や氣の毒不件等を救は  
 たい意志かりた多数が同情を以て罷業を罷絶し  
 ましたもやが事(何卒しや、さうくは幸